

三ツ星ベルトの環境対応型ウレタンゴム系塗膜防水材

ネオレタンリード[®]



人を想い、
地球を想う



三ツ星ベルト株式会社

三ツ星ベルトの環境対応型ウレタン塗膜防水

ネオレタンリード®

環境対応 ①

特定化学物質障害予防規則に該当しません。

特定化学物質障害予防規則(特化則)とは・・・

厚生労働省が化学物質によって健康障害を受けることを予防する目的で特定化学物質障害予防規則が制定されています。対象となる化学物質は、労働安全衛生法施行令で定められ特定化学物質といいます。

－ 特定化学物質を含むウレタン防水は特化則に基づいた取り扱いを行う必要があります。－

《主な取り扱い方法(特化則を一部抜粋)》

- ①特定化学物質作業主任者の選任と現場への常駐と周知(掲示など)
- ②必要な施工区画に、工事関係者以外の立入禁止
- ③該当物質の注意事項を記載した掲示
- ④不浸透性保護手袋(ゴム手袋)の着用、保護具の常備
- ⑤作業者の特殊健康診断(雇い入れ時、配置換え時、その後6ヶ月に1回)
健康診断の結果の報告・保存(30年) 書類または電子化(PDF)



三ツ星ベルトのネオレタンリード®防水工法に使用する製品は特定化学物質障害予防規則に該当しない製品です。

環境対応 ②

厚生労働省のガイドラインに指定されている15物質を含有していません。
文部科学省の「学校環境衛生基準」に記載のある6物質を含有していません。

	物質名	室内濃度指針値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	ネオレタンリード®防水材 *一部製品を除く
【厚生労働省】 シックハウス(室内空気汚染)問題に 関する検討会 中間報告書	アセトアルデヒド	48	無配合
	フェノブカルブ	33	無配合
	ホルムアルデヒド	100	無配合
	トルエン	260	無配合
	キシレン	200	無配合
	パラジクロロベンゼン	240	無配合
	エチルベンゼン	370	無配合
	スチレン(モノマー)	220	無配合
	クロルピリホス	1	無配合
	フタル酸ジ-n-ブチル	17	無配合
	テトラデカン	330	無配合
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100	無配合
	ダイアジノン	0.29	無配合
	総揮発性有機化合物量(TVOC)	400	無配合
	ノナール	41(暫定値)	無配合
【文部科学省】 学校環境衛生基準	ホルムアルデヒド	100	無配合
	トルエン	260	無配合
	キシレン	200	無配合
	パラジクロロベンゼン	240	無配合
	エチルベンゼン	3800	無配合
	スチレン	220	無配合

*一部製品:NRプライマー-S、EUプライマー、FRP改修用プライマー、バィタムシーラー、ネオ・バィアプライマー

環境対応 ③

ネオレタンリード®の材料はF☆☆☆☆を取得しています。

屋外で用いるウレタンゴム系塗膜防水材は法的な規制を受けませんが、ネオレタンリード®防水は日本ウレタン建材工業会「ホルムアルデヒド自主規制表示申請要領」に基づき、最高評価のF☆☆☆☆表示を取得しております。(認定取得製品はP9、10製品一覧で確認ください。)

ネオレタンリード®の工法および仕様一覧

一般平場部

ネオレタンリード®N

工法名称	仕様No.	通気緩衝材	補強布	公共建築工事標準仕様書	特長	主な用途			掲載項
						屋上	ベランダ・バルコニー	開放廊下	
複合通気緩衝防水工法 (粘着層付き通気緩衝材)	NRLN-MS26	○			シート単体で防水機能を有する複合通気緩衝シートによる防水工法です。	◎	○		3
	NRLN-MS39	○		X-1対応		◎	○		
密着防水工法	NRLN-C26		○		クロス補強タイプの密着防水工法です。	◎	◎	◎	4
	NRLN-C39		○	X-2対応		◎	◎	◎	4
	NRLN-26				柔軟性と耐候性を持つ防水層を形成します。	○	○	○	4
	NRLN-39					○	○	○	4

立上り部

ネオレタンリード®T

工法名称	仕様No.	通気緩衝材	補強布	公共建築工事標準仕様書	特長	主な用途			掲載項
						屋上	ベランダ・バルコニー	開放廊下	
密着防水工法	NRLT-C26		○	X-2対応	クロス補強タイプの立上りの防水工法です。	◎	◎	◎	5
	NRLT-26				柔軟性と耐候性を持つ立上りの防水工法です。	○	○	○	5

側溝・巾木部

ネオレタンリード®S

工法名称	仕様No.	通気緩衝材	補強布	公共建築工事標準仕様書	特長	主な用途			掲載項
						屋上	ベランダ・バルコニー	開放廊下	
長尺シート防水工法	NRLS-S20				長尺シートを使用した開放廊下の防水工法です。		○	◎	6
密着防水工法	NRLS-20				ネオレタンリード®Sを使用した開放廊下の防水工法です。		○	◎	6

ベランダ・バルコニー部

ネオレタンリード®V

工法名称	仕様No.	通気緩衝材	補強布	公共建築工事標準仕様書	特長	主な用途			掲載項
						屋上	ベランダ・バルコニー	開放廊下	
密着防水工法	NRLV-C26		○		クロス補強タイプの密着防水工法です。	◎	◎	◎	7
	NRLV-C39		○	X-2対応		◎	◎	◎	7
	NRLV-26				柔軟性と耐候性を持つ防水層を形成します。	○	○	○	7
	NRLV-39					○	○	○	7

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

公共建築工事標準仕様書

令和7年版仕様

(対応仕様:8ページ掲載)

種別	X-1(絶縁工法)		X-2(密着工法)	
	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)
①	接着剤塗り 通気緩衝シート張り(注)1	0.3	プライマー塗り	—————(注)7
②	ウレタンゴム系防水材塗り	3.0(注)4、(注)5	ウレタンゴム系防水材塗り 補強布張り	0.3
③	ウレタンゴム系防水材塗り		ウレタンゴム系防水材塗り	2.7(注)4、(注)5 (1.7)(注)2
④	仕上塗料塗り(注)6	—————	ウレタンゴム系防水材塗り	—————
⑤	—————	—————	仕上塗料塗り(注)6	—————

(注)1. 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。

2. 立上り部は全て、種別X-2とし、工程3及び工程4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量を()内とする。

3. 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは、2回以上に分割して塗り付ける。

5. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの1工程当たりの使用量は、平場は2.5kg/m²、立上りは1.5kg/m²を上限とする。

6. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。

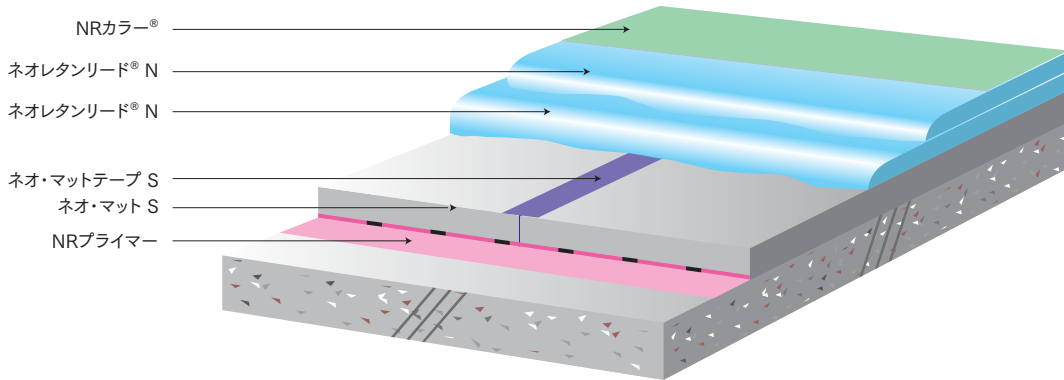
7. 使用量は主材料の製造所の仕様による。

※種別X-1において、脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ、主材料の製造所の仕様による。

一般平場部

複合通気緩衝防水工法(粘着層付き通気緩衝材)

仕様 **NRLN-MS** 屋上 ベランダ
バルコニー



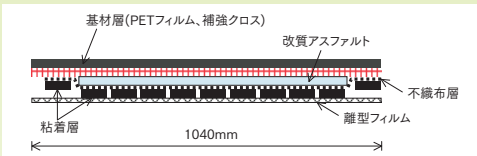
工程		仕様No. 単位	NRLN-MS26	NRLN-MS39 X-1 対応
平場部	① NRプライマー	kg / m ²	0.2	0.2
	② ネオ・マツS ^{注1}	m / m ²	1.04	1.04
	③ ネオレタンリード® N	kg / m ²	1.3	2.0
	④ ネオレタンリード® N	kg / m ²	1.3	1.9
	⑤ NRカラー®	kg / m ²	0.2	0.2
通気緩衝シート厚(ネオ・マツS)			1.4mm	1.4mm

注1:ネオ・マツSの末端部にはネオ・マツテープT+ネオ・クロスで補強処理してください。
ネオ・マツSの短辺接合部にはネオ・マツテープS+ネオ・マツテープTで補強処理してください。
* 脱気筒を50~100mに一箇所、設置してください。
* 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。
* ネオ・マツCKを使用した工法(NRLN-39CK)もあるのでご相談ください。

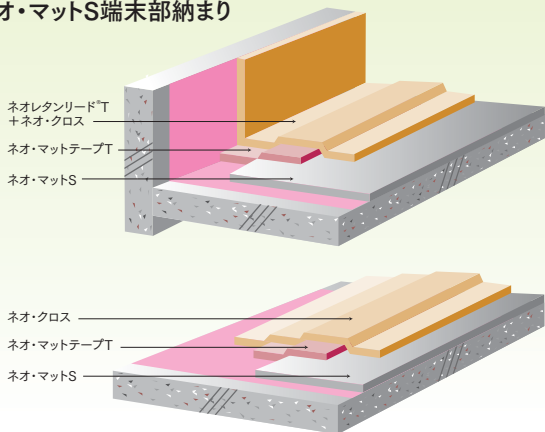
ネオ・マツSの表面



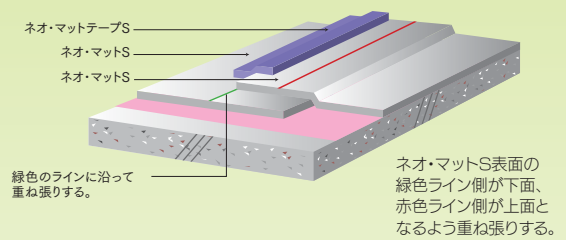
ネオ・マツSの断面



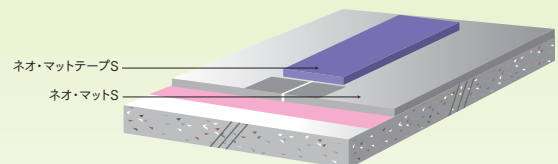
ネオ・マツS端末部納まり



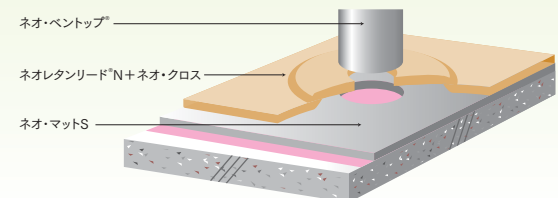
ネオ・マツS長辺部納まり



ネオ・マツS短辺部納まり

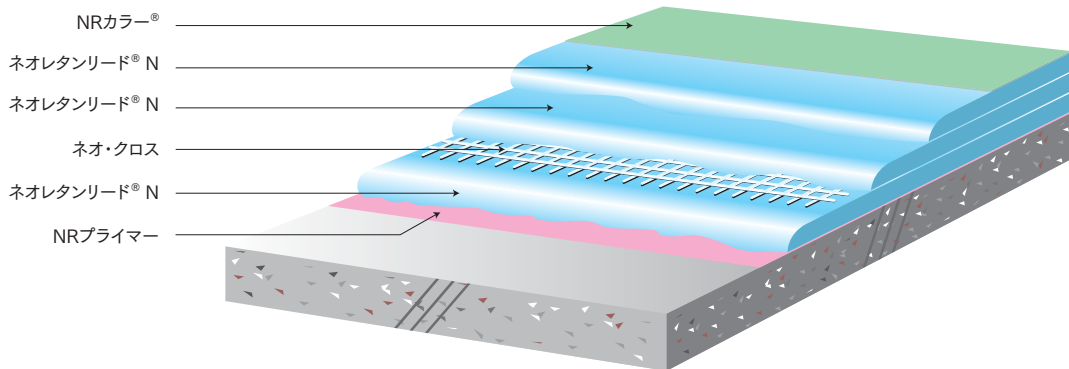


脱気筒回り



密着防水工法

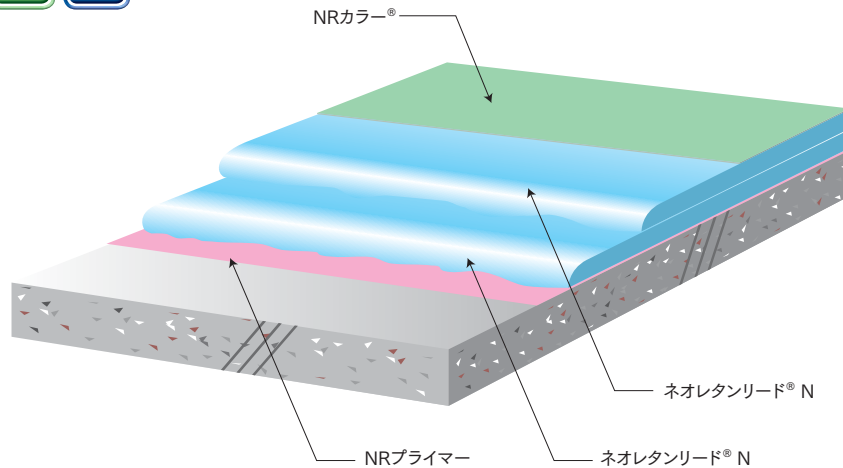
仕様 **NRLN-C** 屋上 ベランダ
バルコニー 開放
廊下



工程		仕様No.		
		単位	NRLN-C26	NRLN-C39 X-2 対応
平場部	① NRプライマー	kg / m ²	0.2	0.2
	② ネオレタンリード® N	kg / m ²	0.4	0.4
	③ ネオ・クロス	m / m ²	1.05	1.05
	④ ネオレタンリード® N	kg / m ²	1.2	2.0
	⑤ ネオレタンリード® N	kg / m ²	1.0	1.5
	⑥ NRカラー®	kg / m ²	0.2	0.2

* 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

仕様 **NRLN** 屋上 ベランダ
バルコニー 開放
廊下



工程		仕様No.		
		単位	NRLN-26	NRLN-39
平場部	① NRプライマー	kg / m ²	0.2	0.2
	② ネオレタンリード® N	kg / m ²	1.3	2.0
	③ ネオレタンリード® N	kg / m ²	1.3	1.9
	④ NRカラー®	kg / m ²	0.2	0.2

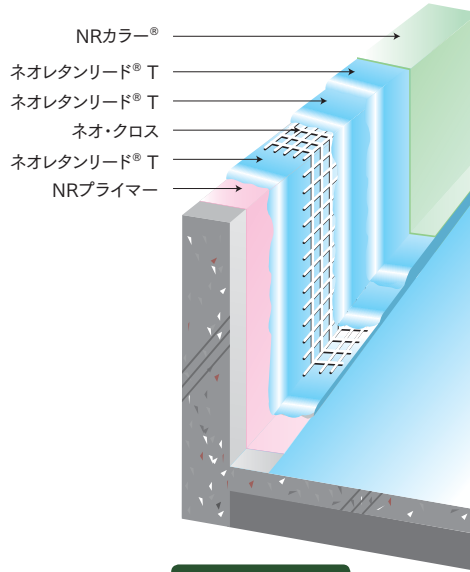
* 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

立上り部

密着防水工法

仕様 NRLT-C

屋上 ベランダ バルコニー 開放廊下



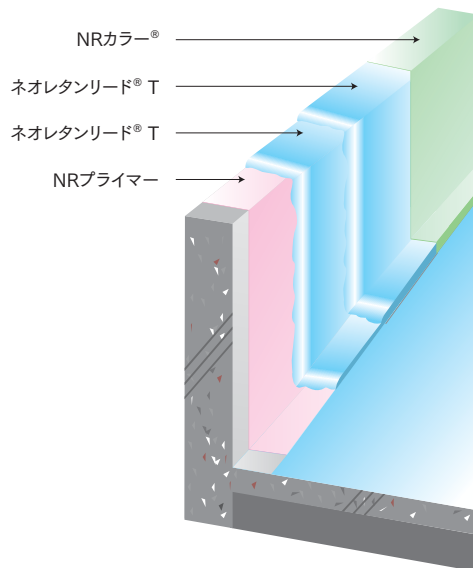
NRLT-C26

工程		仕様No.	NRLT-C26
		単位	X-2 対応
立上り部	① NRプライマー	kg / m ²	0.2
	② ネオレタンリード® T	kg / m ²	0.4
	③ ネオ・クロス	m / m ²	1.05
	④ ネオレタンリード® T	kg / m ²	1.2
	⑤ ネオレタンリード® T	kg / m ²	1.0
	⑥ NRカラー®	kg / m ²	0.2

* 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

仕様 NRLT

屋上 ベランダ バルコニー 開放廊下

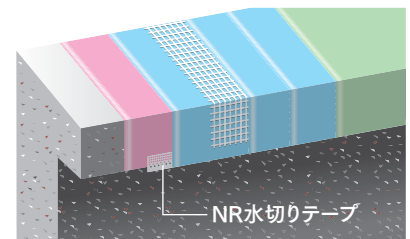


工程		仕様No.	NRLT-26
		単位	
立上り部	① NRプライマー	kg / m ²	0.2
	② ネオレタンリード® T	kg / m ²	1.3
	③ ネオレタンリード® T	kg / m ²	1.3
	④ NRカラー®	kg / m ²	0.2

* 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。
* 必要に応じて出入隅部にクロス補強等を行ってください。

NR水切りテープ

水切りのないパラペット部にはNR水切りテープをご使用ください。



使用方法

- ① プライマーを塗布します。
- ② プライマーの乾燥後、NR水切りテープの離型紙を剥がしながら、下地に張り付けます。
- ③ NR水切りテープは穴の空いた辺を上向きとし、下地に30~35mm程度張り付けます。(10~15mm程度は浮いた状態になります。)
- ④ NR水切りテープ張り付け後は、立上り部の仕様と同様です。

* NR水切りテープ上にもネオレタンリード®を塗布してください。

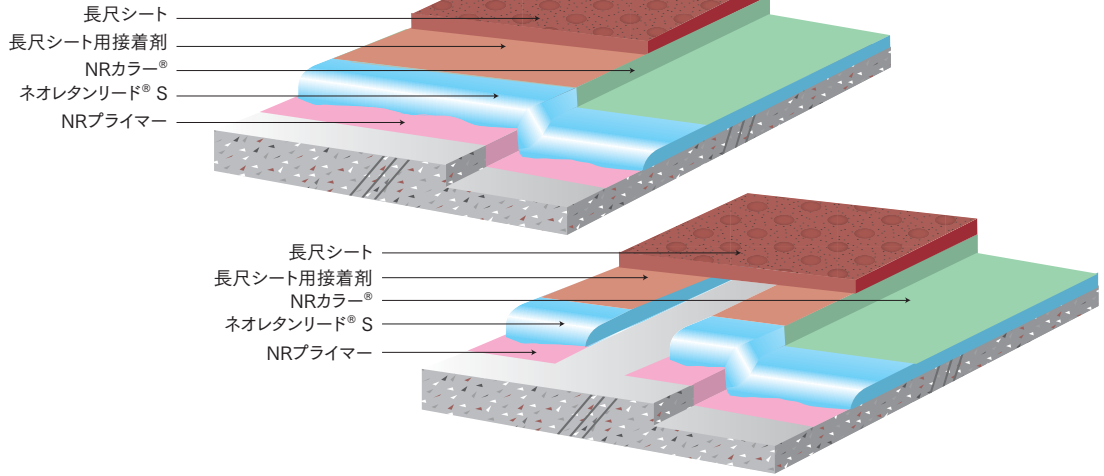
側溝・巾木部

長尺シート防水工法

仕様 NRLS-S

ベランダ
バルコニー

開放
廊下



工程		仕様No.	NRLS-S20
		単位	
平場部	① NRプライマー	kg / m ²	0.2
	② ネオレタンリード® S	kg / m ²	2.0
	③ NRカラー®※	kg / m ²	0.2
	④ 長尺シート用接着剤	kg / m ²	—
	⑤ 長尺シート	m / m ²	—

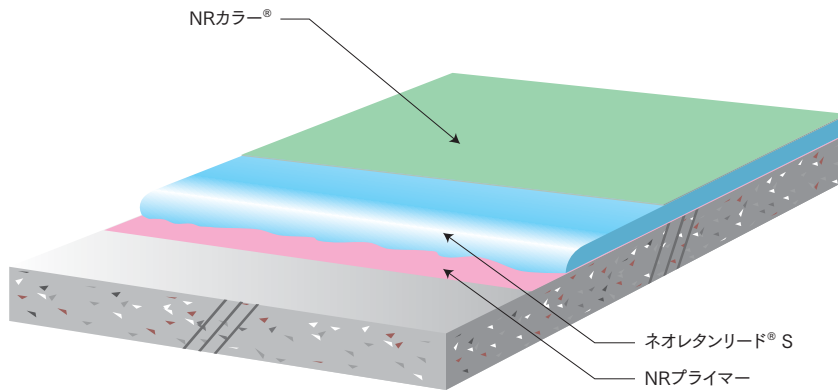
- * 仕上りが長尺シートの箇所はNRカラー®は不要です。
- * 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。
- * 長尺シート用接着剤および長尺シートは長尺シートメーカーの仕様に従ってください。

密着防水工法

仕様 NRLS

ベランダ
バルコニー

開放
廊下



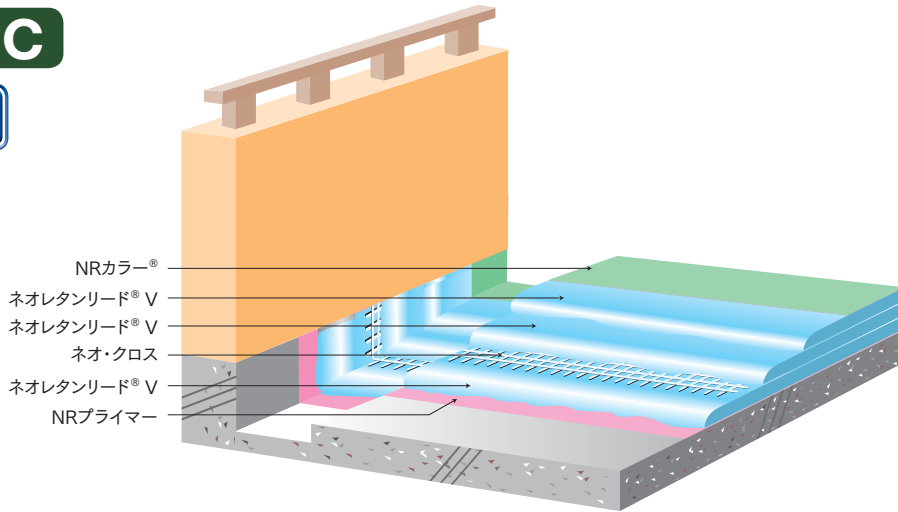
工程		仕様No.	NRLS-20
		単位	
平場部	① NRプライマー	kg / m ²	0.2
	② ネオレタンリード® S	kg / m ²	2.0
	③ NRカラー®	kg / m ²	0.2

- * 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

ベランダ・バルコニー部

密着防水工法

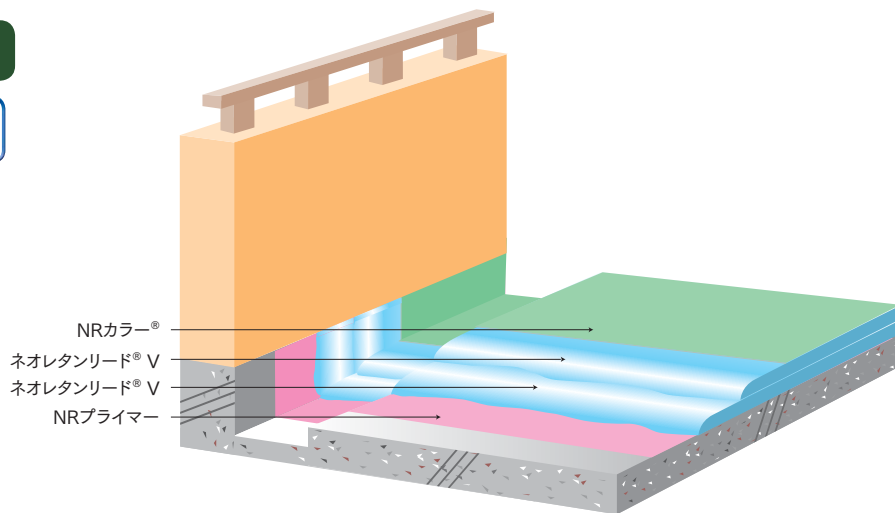
仕様 NRLV-C



工程		仕様No. 単位	NRLV-C26	NRLV-C39 X-2 対応
平場部	① NRプライマー	kg / m ²	0.2	0.2
	② ネオレタンリード® V	kg / m ²	0.4	0.4
	③ ネオ・クロス	m / m ²	1.05	1.05
	④ ネオレタンリード® V	kg / m ²	1.2	2.0
	⑤ ネオレタンリード® V	kg / m ²	1.0	1.5
	⑥ NRカラー®	kg / m ²	0.2	0.2

* 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。
* ネオレタンリード® N,T,Sを用いることもできます。

仕様 NRLV



工程		仕様No. 単位	NRLV-26	NRLV-39
平場部	① NRプライマー	kg / m ²	0.2	0.2
	② ネオレタンリード® V	kg / m ²	1.3	2.0
	③ ネオレタンリード® V	kg / m ²	1.3	1.9
	④ NRカラー®	kg / m ²	0.2	0.2

* 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。
* ネオレタンリード® N,T,Sを用いることもできます。

「公共建築(改修)工事標準仕様書」対応仕様

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

公共建築工事標準仕様書 令和7年版仕様書

種別	X-1(絶縁工法)		X-2(密着工法)	
	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)
①	接着剤塗り 通気緩衝シート張り ^{(注)1}	0.3	プライマー塗り	— ^{(注)7}
②	ウレタンゴム系 防水材塗り	3.0 ^{(注)4} ^{(注)5}	ウレタンゴム系防水材塗り 補強布張り	0.3
③	ウレタンゴム系 防水材塗り		ウレタンゴム系 防水材塗り	2.7 ^{(注)4} ^{(注)5}
④	仕上塗料塗り ^{(注)6}	—	ウレタンゴム系 防水材塗り	(1.7) ^{(注)2}
⑤	—	—	仕上塗料塗り ^{(注)6}	—

- (注) 1. 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
 2. 立上り部は全て、種別X-2とし、工程3及び工程4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量を()内とする。
 3. 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
 4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは、2回以上に分割して塗り付ける。
 5. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの1工程当たりの使用量は、平場は2.5kg/m²、立上りは1.5kg/m²を上限とする。
 6. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。
 7. 使用量は主材料の製造所の仕様による。
 ※ 種別X-1において、脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ、主材料の製造所の仕様による。

公共建築改修工事標準仕様書 令和7年版仕様書

種別	X-1(絶縁工法)		X-2(密着工法)	
	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)
①	接着剤塗り 通気緩衝シート張り ^{(注)1}	0.3	プライマー塗り	— ^{(注)8}
②	ウレタンゴム系高伸長形 防水材塗り	3.0 ^{(注)5} ^{(注)6}	ウレタンゴム系高伸長形 防水材塗り補強布張り	0.3
③	ウレタンゴム系高伸長形 防水材塗り		ウレタンゴム系高伸長形 防水材塗り	2.7 ^{(注)5} ^{(注)6}
④	仕上塗料塗り ^{(注)7}	—	ウレタンゴム系高伸長形 防水材塗り	(1.7) ^{(注)3}
⑤	—	—	仕上塗料塗り ^{(注)7}	—

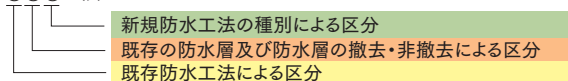
- (注) 1. 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
 2. L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
 3. 立上り部は全て、種別X-2とし、工程3及び工程4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量を()内とする。
 4. 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
 5. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは、2回以上に分割して塗り付ける。
 6. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの1工程当たりの使用量は、平場は2.5kg/m²、立上りは1.5kg/m²を上限とする。
 7. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。
 8. 使用量は主材料の製造所の仕様による。

工法の種類	既存防水工法による区分	既存の防水層及び防水層の撤去・非撤去による区分	新規防水工法の種別による区分	ウレタンゴム系塗膜防水の種別	該当する三ツ星ペルトの仕様No.
P0X工法	保護アスファルト・改質アスファルト防水工法(断熱工法含む)	保護層及び防水層非撤去(立上り部は撤去)	ウレタンゴム系塗膜防水工法(絶縁工法)	X-1	NRLN-MS39、NRLT-C26
L4X工法	ウレタンゴム系塗膜防水工法	露出防水層非撤去	ウレタンゴム系塗膜防水工法(密着工法)	X-2*	NRLN-C39、NRLV-C39、NRLT-C26

* 既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1「プライマー塗り」を省略する。

★工法名称

○○○工法



●既存防水工法による区分

- P - 保護アスファルト・改質アスファルト防水工法(断熱工法含む)
- M - 露出アスファルト・改質アスファルト防水工法(断熱工法含む)
- S - 合成高分子系ルーフィングシート防水工法(断熱工法含む)
- L - ウレタンゴム系塗膜防水工法

●既存の防水層及び防水層の撤去・非撤去による区分

- 1 - 保護層及び防水層撤去
- 2 - 保護層撤去及び防水層非撤去(立上り部等は、撤去)
- 3 - 露出防水層撤去
- 4 - 露出防水層非撤去(立上り部等は、表3.1.1による)
- 0 - 保護層及び防水層非撤去(立上り部等は、表3.1.1による)

●新規防水工法の種別による区分

- A - 屋根保護防水密着工法
- B - 屋根保護防水絶縁工法
- AI - 屋根保護防水密着断熱工法
- BI - 屋根保護防水絶縁断熱工法
- C - 屋根露出防水密着工法
- D - 屋根露出防水絶縁工法
- DI - 屋根露出防水絶縁断熱工法
- AS - 改質アスファルトシート防水工法
- ASI - 改質アスファルトシート防水絶縁断熱工法
- S - 合成高分子系ルーフィングシート防水工法
- SI - 合成高分子系ルーフィングシート防水断熱工法
- X - ウレタンゴム系塗膜防水工法
- E - 屋内防水密着工法
- Y - ゴムアスファルト系塗膜防水工法

一般平場部

X-1 対応 NRLN-MS39

(詳細:3ページ掲載)

工程	使用材料名	kg/m ²
①	NRプライマー	0.2
	ネオ・マットS	(1.04m/m ²)
②	ネオレタンリード® N	2.0
③	ネオレタンリード® N	1.9
④	NRカラー®	0.2

* ネオレタンリード®Nは硬化物比重を1.3で換算しています。

X-2 対応 NRLN-C39

(詳細:4ページ掲載)

工程	使用材料名	kg/m ²
①	NRプライマー	0.2
	ネオレタンリード® N	0.4
②	ネオ・クロス	(1.05m/m ²)
	ネオレタンリード® N	2.0
④	ネオレタンリード® N	1.5
⑤	NRカラー®	0.2

* ネオレタンリード®Nは硬化物比重を1.3で換算しています。

立上り部

X-2 対応 NRLT-C26

(詳細:5ページ掲載)

工程	使用材料名	kg/m ²
①	NRプライマー	0.2
②	ネオレタンリード® T	0.4
	ネオ・クロス	(1.05m/m ²)
③	ネオレタンリード® T	1.2
④	ネオレタンリード® T	1.0
⑤	NRカラー®	0.2

* ネオレタンリード®Tは硬化物比重を1.3で換算しています。

ベランダ・バルコニー部

X-2 対応 NRLV-C39

(詳細:7ページ掲載)

工程	使用材料名	kg/m ²
①	NRプライマー	0.2
②	ネオレタンリード® V	0.4
	ネオ・クロス	(1.05m/m ²)
③	ネオレタンリード® V	2.0
④	ネオレタンリード® V	1.5
⑤	NRカラー®	0.2

* ネオレタンリード®Vは硬化物比重を1.3で換算しています。

製品一覧

特：特定化学物質障害予防規則 非該当製品
 有：有機溶剤中毒予防規則 非該当製品
 F：F☆☆☆☆認定取得製品

	品名	適用	規格	備考	特	有	F
防水材	ネオレタンリード®N	平場用ウレタン防水材 2液反応硬化タイプ(1:2配合) 硬化物比重:1.3	24kg/セット (主剤:8kg/缶 硬化剤:16kg/缶)	JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形	●	●	●
	ネオレタンリード®T	立上り用ウレタン防水材 2液反応硬化タイプ(1:2配合) 硬化物比重:1.3	24kg/セット (主剤:8kg/缶 硬化剤:16kg/缶)	JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形	●	●	●
	ネオレタンリード®S	側溝・巾木用ウレタン防水材 2液反応硬化タイプ(1:2配合) 硬化物比重:1.3	24kg/セット (主剤:8kg/缶 硬化剤:16kg/缶)	JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形	●	●	●
	ネオレタンリード®V	ベランダ・バルコニー用ウレタン防水材 2液反応硬化タイプ(1:2配合) 硬化物比重:1.3	24kg/セット (主剤:8kg/缶 硬化剤:16kg/缶)	JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形	●	●	●
プライマー	NRプライマー	RC・モルタル下地用プライマー 1液湿気硬化タイプ	16kg/缶	標準塗布量:0.2kg/m ²	●	●	●
	NRプライマーU	ウレタン下地用・ウレタン塗り重ね用 (層間)プライマー 1液湿気硬化タイプ	8kg/缶	標準塗布量:0.1kg/m ²	●	●	●
	NRプライマーM	金属下地用プライマー 1液湿気硬化タイプ	0.45kg/缶	標準塗布量:0.1kg/m ²	●		●
	NRプライマーAQエポ	RC・モルタル下地用プライマー エポキシ樹脂系 2液反応硬化タイプ(水性)	18kg/セット (主剤:12kg/缶 硬化剤:6kg/缶)	* NRLN-MS工法には適用不可 標準塗布量:0.2kg/m ²	●	●	
	NRプライマーQ	RC・モルタル下地用プライマー 速乾性1液湿気硬化タイプ	16kg/缶	* 受注生産品 標準塗布量:0.2kg/m ²	●	●	●
	NRプライマーS	RC・モルタル下地用プライマー 速乾性1液湿気硬化タイプ (汎用溶剤タイプ)	16kg/缶	* 受注生産品 標準塗布量:0.2kg/m ²	●		●
	EUプライマー	ウレタン防水と加硫ゴム系 シート防水の取合い部用プライマー 変性クロロプレン系	3.2kg/セット (A液:3kg/缶 B液:0.2kg/缶)	* 受注生産品 標準塗布量:0.1kg/m ²	●		
	ネオ・プライマーPV	塩ビシート取合用プライマー 変性クロロプレン系	15kg/缶	* NRプライマーUと併用してください。 * 受注生産品 標準塗布量:0.1kg/m ²	●		
	FRP改修用プライマー	FRP下地用プライマー エポキシ樹脂系2液反応硬化タイプ	2.8kg/セット (主剤:2.1kg/缶 硬化剤:0.7kg/缶)	* 受注生産品 標準塗布量:0.15kg/m ²	●		
	バイタムシーラー	砂付きアスファルト下地用プライマー	20kg/缶	* NRLN-MS工法限定 * 受注生産品 標準塗布量:1.5kg/m ²	●		
	ネオ・バリアプライマー	タールウレタン下地用プライマー エポキシ樹脂系2液反応硬化タイプ	6kg/セット (主剤:5kg/缶 硬化剤:1kg/缶)	* 受注生産品 標準塗布量:0.3kg/m ² (2回塗り)	●		
仕上塗料	NRカラー®	アクリルウレタン系仕上塗料 (色調:グレー、ライトグレー、 グリーン、ライトブラウン)	14kg/セット (主剤:6kg/缶 硬化剤:8kg/缶)	標準塗布量:0.2kg/m ²	●	●	●
	NRカラー®AS	アクリルシリコン系高耐候性仕上塗料 (色調:グレー、グリーン、ブラウン)	14kg/セット (主剤:6kg/缶 硬化剤:8kg/缶)	標準塗布量:0.2kg/m ²	●	●	●
	NRカラー®CL	アクリルウレタン系高日射反射率 仕上塗料 (色調:ライトグレー、ライトブラウン)	14kg/セット (主剤:6kg/缶 硬化剤:8kg/缶)	標準塗布量:0.2kg/m ²	●	●	●
	NRカラー®ASCL	アクリルシリコン系高耐候性 ・高日射反射率仕上塗料 (色調:ライトグレー、ライトブラウン)	14kg/セット (主剤:6kg/缶 硬化剤:8kg/缶)	標準塗布量:0.2kg/m ²	●	●	●
	NRカラー®AQ	アクリルウレタン系仕上塗料(水性) (色調:グレー、グリーン)	11kg/セット (主剤:1.0kg/缶 硬化剤:10kg/缶 減粘剤:500cc/ボトル)	* 受注生産品 標準塗布量:0.2kg/m ²	●	●	●
	ネオ・カラーガイナ	アクリルシリコン系 特殊セラミック仕上塗料(水性) (色調:N-60[グレー]、N-80 [ライトグレー]、N-95[ホワイト])	14kg/丸缶	* 使用する場合はNRプライマーU を塗布してください。 標準塗布量:0.4kg/m ²	●	●	
	ネオ・トップブルーFA	アクリル系軽舗装仕上塗料(水性) (色調:グレー、ライトグレー、グリーン)	18kg/缶	* 使用する場合はNRプライマーU を塗布してください。 標準塗布量:0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	●	●	

※バイタムシーラーには、特定化学物質第2類物質の特別有機溶剤が含まれています。特別有機溶剤は他の特定化学物質と異なり、屋内における塗装工事等が対象となり有機則を準用した特化則対応が求められます。(屋上や開放廊下等での作業はその限りではありません。)

※ネオレタンリード®防水材(N,T,S,V)は、主剤にトリレンジイソシアネートを含みますが、1%以下の含有であるため、特化則に該当しません。
 また、3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン(MOCA、またはMBOCA)は含有していません。

特：特定化学物質障害予防規則 非該当製品
 有：有機溶剤中毒予防規則 非該当製品
 F：F☆☆☆☆認定取得製品

	品名	適用	規格	備考	特	有	F	
補強布	ネオクロスPC	補強クロス材（ポリエステルクロス）	厚0.37mm×幅1020mm×長50m/巻		—	—		
	ネオクロスCK	補強クロス材（ポリエステルクロス）	厚0.35mm×幅1020mm×長50m/巻		—	—		
	ネオ・クロステープG	出入隅用ガラスクロステープ	厚0.35mm×幅100mm×長50m/巻		—	—		
通気緩衝シート	ネオマットS関連	ネオ・マットS	NRLN-MS工法用粘着層付き通気緩衝シート 特殊フィルム+改質アスファルト系自着タイプ	厚1.4mm×幅1040mm×長15.7m/巻		—	—	
		ネオ・マットテープS	ネオ・マットS用ジョイントテープ 粘着剤付きポリエステルフィルムテープ	厚0.19mm×幅90mm×長50m/巻		—	—	
		ネオ・マットテープT	ネオ・マットS用端末・ブリード防止用テープ ブリード防止層付きブチルテープ	厚0.5mm×幅75mm×長25m/巻		—	—	
	ネオマットCK関連	ネオ・マットCK	NRMC工法用通気緩衝シート	厚1.4mm×幅1000mm×長50m/巻	穴なしポリエステル繊維不織布 帯電防止及び撥水加工	—	—	
		ネオ・マットテープM	ネオ・マットCK用ジョイントテープ	幅75mm×長25m/巻	粘着剤付き不織布テープ	—	—	
		ネオ・マットテープCK	ネオ・マットCK用ジョイントテープ	厚0.13mm×幅50mm×長50m/巻	粘着剤付き不織布フィルムテープ	—	—	
		ネオ・マットボンドCK	ネオ・マットCK用接着剤	15kg/角缶	合成ゴム系接着剤(溶剤系)	—	—	
添加剤	NR硬化促進剤	ネオレタンリード®用硬化促進剤	6kg/缶	*P12をご参照下さい。	●	●	●	
	NR増粘剤	ネオレタンリード®用液体増粘付与剤	1.6kg/缶	*P12をご参照下さい。	●	●	●	
	NR減粘剤	ネオレタンリード®用液体減粘付与剤	13kg/缶	*添加量は重量比 5%までです。	●	●	●	
副資材	NRウレタンチップ	ウレタン系粗面仕上げ用チップ	300g/箱		—	—		
	NR水切りテープ	アクリル粘着層付き パラペットアゴ下専用水切りテープ	50m/巻		—	—		
	ネオ・ベントップ®	脱気装置 本体:特殊樹脂系 キャップ:ステンレス製	台座φ220mm×高200mm ×キャップ径φ70mm 2個/箱	*NRプライマーMを 塗布してから防水材 を塗布してください。	—	—		
	ネオ・ベントップ®SUS	脱気装置 本体:ステンレス製 キャップ:ステンレス製	台座φ180mm×高210mm ×キャップ径φ50mm 2個/箱	*NRプライマーMを 塗布してから防水材 を塗布してください。	—	—		
	ネオ・ドレン鉛 タテ	改修用縦型ドレン 鉛製	φ40~100mm 2個/箱	*NRプライマーMを 塗布してから防水材 を塗布してください。	—	—		
	ネオ・ドレン鉛 ヨコ	改修用横型ドレン 鉛製	φ30~140mm 2個/箱	*NRプライマーMを 塗布してから防水材 を塗布してください。	—	—		
	A型ストレーナー タテ (大、小)	ネオ・ドレン鉛タテ用ストレーナー アルミダイキャスト製	(大)高108mm×幅160mm (小)高30mm×幅95mm		—	—		
	L型ストレーナー ヨコ (大、小)	ネオ・ドレン鉛ヨコ用ストレーナー アルミダイキャスト製	(大)高120mm×幅150mm (小)高95mm×幅112mm		—	—		
	メジフィット	伸縮目地処理用テープ 粘着層付き極薄金属板テープ	厚1.0mm(剥離フィルム込) ×幅100mm×長16m 2巻/包		—	—		

ウレタン系塗膜防水材料

防水材料



■ネオレタンリード®N

用途: 平場用ウレタン防水材料
内容: JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形
規格: 24kg/セット(主剤8kg、硬化剤16kg)
硬化物比重: 1.3
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171023



■ネオレタンリード®T

用途: 立上り用ウレタン防水材料
内容: JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形
規格: 24kg/セット(主剤8kg、硬化剤16kg)
硬化物比重: 1.3
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171026



■ネオレタンリード®S

用途: 側溝・巾木用ウレタン防水材料
内容: JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形
規格: 24kg/セット(主剤8kg、硬化剤16kg)
硬化物比重: 1.3
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171025



■ネオレタンリード®V

用途: 平場用ウレタン防水材料
内容: JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形
規格: 24kg/セット(主剤8kg、硬化剤16kg)
硬化物比重: 1.3
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171024

プライマー



■NRプライマー

用途: RC・モルタル下地用プライマー
内容: 1液湿気硬化タイプ
規格: 16kg/缶
標準塗布量: 0.2kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171027



■NRプライマーU

用途: ウレタン下地用・ウレタン塗り重ね用(層間)プライマー
内容: 1液湿気硬化タイプ
規格: 8kg/缶
標準塗布量: 0.1kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171028



■NRプライマーAQエコ

用途: RC・モルタル下地用プライマー
内容: エポキシ樹脂系2液反応硬化タイプ
規格: 18kg/セット(主剤12kg、硬化剤6kg)
標準塗布量: 0.2kg/m²



■EUプライマー

用途: ウレタン防水と加硫ゴム系シート防水の取合い部用プライマー
内容: 変性クロロプレン系
規格: 3.2kg/セット(A液3kg、B液0.2kg)
標準塗布量: 0.1kg/m²

添加剤



■NR減粘剤

用途: ネオレタンリード®用粘度調整剤
内容: 減粘剤
規格: 13kg/缶
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171037
※添加量は重量比5%までです。

ウレタン系塗膜防水材料

添加剤



■NR硬化促進剤

用途: ネオレタンリード®用硬化促進剤
 内容: 硬化促進剤
 規格: 6kg/缶
 F☆☆☆☆対応品
 登録番号 NUK-F171035



■NR増粘剤

用途: ネオレタンリード®N用液体増粘付与剤
 内容: 増粘付与剤
 規格: 1.6kg/缶 (計量カップ付)
 F☆☆☆☆対応品
 登録番号 NUK-F171036

硬化促進剤の添加限量目安

気温	ネオレタンリード®N,V				ネオレタンリード®S,T	
	無印(春夏秋用)		W(冬用)		無印(通年用)	
	添加量	1セットあたりの目安	添加量	1セットあたりの目安	添加量	1セットあたりの目安
15℃	不要		不要		不要	
10℃	重量比2.0%	600cc (480g)	不要		不要	
5℃	—		重量比1.0%	300cc (240g)	重量比0.5%	150cc (120g)

※NR硬化促進剤の添加量は重量比5%までです。

過剰に添加すると物性の低下や、ピンホール等が発生しやすくなります。

※減粘剤と併用する場合、硬化促進剤との合計の添加量は重量比5%までです。

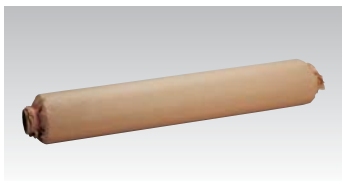
増粘剤の防水材1セット24kgに対する添加量目安

添加量	添加量目安
重量比0.1%	約25cc (約24g)

1回の限度塗布量

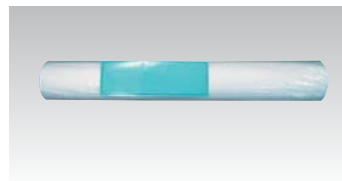
バルコニー等(1/10勾配まで)	2.0kg/m ²
パラペット天端(1/6勾配まで)	1.0kg/m ²

補強布・通気緩衝シート・テープ



■ネオ・クロスPC

用途: 補強クロス材
 内容: ポリエステルクロス
 規格: 幅1020mm×長50m



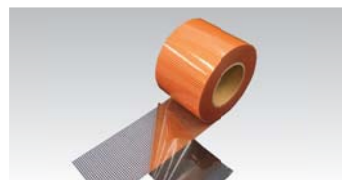
■ネオ・クロスCK

用途: 補強クロス材
 内容: ポリエステルクロス
 規格: 幅1020mm×長50m×6本入り



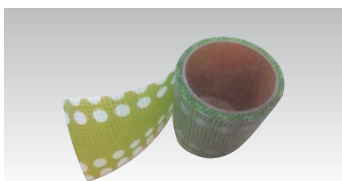
■ネオ・マットS

用途: NRMS工法用複合通気緩衝シート
 内容: 特殊フィルム
 +改質アスファルト系自着タイプ
 規格: 厚1.4mm×幅1040mm×長15.7m



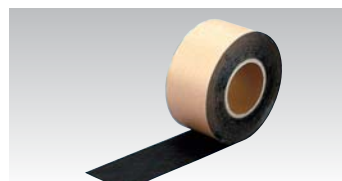
■ネオ・クロスステップG

用途: 出入隅用ガラスクロステープ
 内容: ガラスクロス(絡み織りタイプ)
 規格: 厚0.35mm×幅100mm×長50m/巻



■ネオ・マットテープS

用途: ネオ・マットS用ジョイントテープ
 内容: 粘着剤付きポリエステルフィルムテープ
 規格: 厚0.19mm×幅90mm×長50m



■ネオ・マットテープT

用途: ネオ・マットS用端末・短辺ブリード防止用テープ
 内容: ブリード防止層付きブチルテープ
 規格: 厚0.5mm×幅75mm×長25m



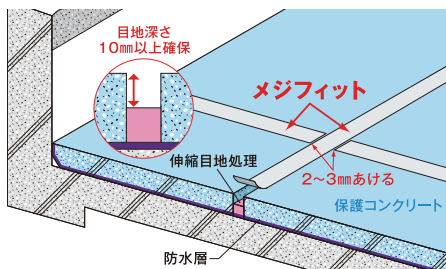
■メジフィット

用途: 伸縮目地処理用テープ
 規格: 厚1mm(剥離フィルム込)×幅100mm×長16m/巻
 単位: 2巻/包

施工手順

- 下地を高圧洗浄します。
- 既存目地材の撤去
 - 目地キャップを撤去します。※目地発泡体の撤去は現場監督者と協議します。
 - 目地深さ10mm以上確保します。※必要に応じて目地発泡体も一部撤去します。
- 目地周辺部の段差を下地調整材等にて補正を行います。
- メジフィットを張り付ける下地に、防水層に合わせたプライマーを塗布してください。
- メジフィットの張り付け
 - メジフィットどうしのジョイントは、2~3mm程度あけてください。
 - 目地の十字部分は、重ね張りしないでください。
 - メジフィット自体に巻クセが付いている場合は、補正して張り付けてください。
メジフィット端部のめくれ防止になります。
 - 目地の中心に合わせてメジフィットを張り付け、ゴムローラーで転圧します。
- 必要に応じてNRプライマーMを塗布します。
- 通気緩衝シートを張り付けてください。

※コンクリート下地が濡れていると接着力が落ちてしまうので注意してください。
 ※メジフィット表層の極薄板の小口でけがをしないよう取扱いに注意してください。
 ※上記赤字部分は、不具合の発生原因になりますので、ご注意ください。



ウレタン系塗膜防水材料

仕上塗料



■NRカラー®

用途: アクリルウレタン系仕上塗料
内容: 有機則非該当の溶剤系(2液反応硬化)
規格: 14kg/セット(主剤6kg、硬化剤8kg)
色調: グレー、ライトグレー、
グリーン、ライトブラウン
標準塗布量: 0.2kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171030



■NRカラー®AS (高耐候性塗料)

用途: アクリルシリコン系仕上塗料
内容: 有機則非該当の溶剤系(2液反応硬化)
規格: 14kg/セット(主剤6kg、硬化剤8kg)
色調: グレー、グリーン、ブラウン
標準塗布量: 0.2kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171031



■NRカラー®CL (高日射反射率塗料)

用途: アクリルウレタン系仕上塗料
内容: 有機則非該当の溶剤系(2液反応硬化)
規格: 14kg/セット(主剤6kg、硬化剤8kg)
色調: ライトグレー、ライトブラウン
日射反射率: ライトグレー 63.0%
ライトブラウン 64.9%
標準塗布量: 0.2kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171032



■NRカラー®ASCL (高耐候性・高日射反射率塗料)

用途: アクリルシリコン系仕上塗料
内容: 有機則非該当の溶剤系(2液反応硬化)
規格: 14kg/セット(主剤6kg、硬化剤8kg)
色調: ライトグレー、ライトブラウン
日射反射率: ライトグレー 73.3%
ライトブラウン 75.0%
標準塗布量: 0.2kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171033



■NRカラー®AQ (水性)

用途: アクリルウレタン系仕上塗料
内容: 水性(2液反応硬化)
規格: 11kg/セット
(主剤13kg、硬化剤2kg、減粘剤:500cc)
色調: グレー、グリーン
標準塗布量: 0.2kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F171034

カラーサンプル

NR カラー®



グレー



ライトグレー



グリーン



ライトブラウン

NR カラー® AS



グレー



グリーン



ブラウン

NR カラー® CL

* 特注色には対応していません。



ライトグレー
(日射反射率:63.0%)



ライトブラウン
(日射反射率:64.9%)

NR カラー® ASCL

* 特注色には対応していません。



ライトグレー
(日射反射率:73.3%)



ライトブラウン
(日射反射率:75.0%)

NR カラー® AQ

* 特注色には対応していません。



グレー
* 受注生産



グリーン
* 受注生産

ネオレタンリート®



主剤



硬化剤



攪拌後

— 印刷のため実物と異なる場合があります。 —

技術資料

材料の乾燥・硬化時間

■プライマーの乾燥・硬化時間

品名	項目	初期硬化時間		上塗り材施工可能時間		
		23℃	5℃	23℃	夏季	冬季
NRプライマー		—	6～8時間	3～4時間	3日以内	5日以内
NRプライマー U		—	3～4時間	1時間	1日以内	3日以内
NRプライマー M		—	1時間	20分	2日以内	5日以内
NRプライマーAQエポ		1時間	10～12時間	4～6時間	3日以内	5日以内
NRプライマーQ			3～4時間	1時間	1日以内	3日以内
NRプライマーS			5～7時間	2～3時間	1日以内	3日以内

- ・可使時間 …………… 材料を混合してからの使用可能時間。
- ・初期硬化時間 …………… タックフリーとなり、次工程作業を開始できる時間。
- ・上塗り材施工可能時間 …………… 表中の時間内に次工程作業を行ってください。
時間が過ぎてしまった場合は、サンディング・清掃後にNRプライマーU(0.1 kg/m²)を塗布してください。

■ウレタン防水材の乾燥・硬化時間

品名	項目	初期硬化時間		上塗り材施工可能時間	
		23℃	23℃	夏季	冬季
ネオレタンリード® N		65分	15時間	2日以内	5日以内
ネオレタンリード® T		60分	13時間	2日以内	5日以内
ネオレタンリード® S		60分	13時間	2日以内	5日以内
ネオレタンリード® V		65分	15時間	2日以内	5日以内

- ・可使時間 …………… 材料を混合してからの使用可能時間。
- ・初期硬化時間 …………… タックフリーとなり、次工程作業を開始できる時間。
- ・上塗り材施工可能時間 …………… 表中の時間内に次工程作業を行ってください。
時間が過ぎてしまった場合は、サンディング・清掃後にNRプライマーU(0.1 kg/m²)を塗布してください。

■仕上塗料の乾燥・硬化時間

品名	項目	初期硬化時間			開放時間	
		23℃	5℃	23℃	夏季	冬季
NRカラー®		4時間	5時間	3時間	5時間	12時間
NRカラー®AS		4時間	5時間	3時間	5時間	12時間
NRカラー®CL		4時間	5時間	3時間	5時間	12時間
NRカラー®ASCL		4時間	5時間	3時間	5時間	12時間
NRカラー®AQ		1時間	8時間	4時間	5時間	12時間

- ・可使時間 …………… 材料を混合してからの使用可能時間。
可使時間を過ぎて使用すると、仕上に影響が出る場合がありますので、使用しないでください。
- ・初期硬化時間 …………… タックフリーとなり、次工程作業を開始できる時間。
ただし、十分な強度は発現していないため、靴底でひねったりしないよう歩行には注意してください。
- ・開放時間 …………… 一般開放できる時間。

■注意事項

- ・一度開封した材料はできるだけ当日中に使い切ってください。
- ・2液以上を攪拌混合して使用する材料は、計量後、直ちに攪拌混合作業を開始してください。

上記時間等は目安であり、気象条件によって異なる場合があります。

プライマーの適用

■下地・プライマーの適用表

		NRプライマー	NRプライマーU	NRプライマーM	NRプライマーAQエポ	NRプライマーQ	NRプライマーS
下地種類	RC・モルタル	○	×	×	○	○	○
	ウレタン塗膜防水	×	○	×	×	×	×
	ステンレス板	×	×	○	×	×	×
	アルミ板	×	×	○	×	×	×
	鉛板	×	×	○	×	×	×
	ガルバリウム板	×	×	○	×	×	×

- * 下地は平滑とし、塵埃、油分などを除去してください。また、プライマー塗布前に下地の乾燥を確認してください。
- * 材質によってはサンディングや接着試験を必要とする場合もあります。

ネオレタンリード®法規制

ネオレタンリード®の特性

品名		規格値	ネオレタンリード®N	ネオレタンリード®T	ネオレタンリード®S	ネオレタンリード®V						
用途		JIS A 6021:2022 建築用塗膜防水材 ウレタンゴム系高伸長形	平場用		立上り用		側溝・巾木用	ベランダ・バルコニー用				
液特性	構成		主剤	硬化剤	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤				
	混合比		1:2		1:2		1:2					
	固形分(%)		表示値±3.0	91.5	99.3	91.5	95.3	91.5	99.3			
硬化物比重		表示値±0.1	1.3		1.3		1.3					
引張性能	引張強さ(N/mm ²)	試験時温度 23°C	2.3以上		3.5		4.9		5.2		4.3	
		試験時温度 -20°C	2.3以上		7.8		12.1		11.5		10.3	
		試験時温度 60°C	1.4以上		2.1		3.2		3.0		2.6	
	破断時の伸び率(%)	試験時温度 23°C	450以上		715		870		810		770	
	抗張積(N/mm)	試験時温度 23°C	280以上		501		853		842		662	
		破断時のつかみ間の伸び率(%)	試験時温度 23°C	300以上		442		708		607		527
		試験時温度 -20°C	250以上		468		744		655		543	
		試験時温度 60°C	200以上		288		574		456		369	
	引裂性能	引張強さ(N/mm)	14以上		17.6		14.6		16.1		16.4	
加熱伸縮性能	伸縮率(%)	-4以上1.0以下		-0.3		-0.5		-0.5		-0.3		
劣化処理後の引張性能	引張強さ比(%)	加熱処理	80以上		93		104		96		97	
		促進暴露処理	60以上		86		109		85		84	
		アルカリ処理	60以上		99		86		101		91	
		酸処理	80以上		95		86		85		94	
	破断時の伸び率(%)	加熱処理	400以上		740		858		800		792	
		促進暴露処理	400以上		700		923		750		750	
		アルカリ処理	400以上		728		858		750		750	
		酸処理	400以上		715		853		770		770	
伸び時の劣化性状	加熱処理	いずれの試験片にも ひび割れ及び著しい変形 があらわれない。	異常なし		異常なし		異常なし		異常なし			
	促進暴露処理		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし			
	オゾン処理		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし			

消防法の規制

危険物

危険物類別	品名	危険等級	引火点	指定数量
4類1石	NRプライマー NRプライマーU EUプライマー[A液] EUプライマー[B液] FRP改修用プライマー[主剤] FRP改修用プライマー[硬化剤] ネオ・バリアプライマー[主剤] ネオ・バリアプライマー[硬化剤] NR減粘剤 NR硬化促進剤 NRプライマーQ NRプライマーS NRプライマーM ネオ・プライマーPV	II	21°C未満	200ℓ
4類2石	バイタムシーラー NRカラー®[主剤] NRカラー®[硬化剤] NRカラー®CL[主剤] NRカラー®CL[硬化剤] NRカラー®ASCL[主剤] NRカラー®ASCL[硬化剤] NRカラー®AS[主剤] NRカラー®AS[硬化剤] NR増粘剤	III	21°C以上～70°C未満	1,000ℓ
4類3石	ネオレタンリード®N[主剤] ネオレタンリード®T[主剤] ネオレタンリード®S[主剤] ネオレタンリード®V[主剤]	III	70°C以上～200°C未満	2,000ℓ
4類4石		III	200°C以上～250°C未満	6,000ℓ

指定可燃物

危険物類別	品名	指定数量
可燃性液体	NRカラー®AQ[主剤]	2m ³
可燃性固体	ネオレタンリード®T[硬化剤] ネオレタンリード®S[硬化剤]	3,000kg

規制対象外

危険物類別	品名	指定数量
非危険物	NRプライマーAQエポ[主剤] NRプライマーAQエポ[硬化剤] ネオレタンリード®N[硬化剤] ネオレタンリード®V[硬化剤] NRカラー®AQ[硬化剤] ネオ・カラーガイナ ネオ・トッブルーFA	-

注意事項

設計上の注意事項（防水業者とご相談ください）

- 防水以外の目的で使用される場合は、使用目的を事前に防水業者とよく打ち合わせて、仕様を決定してください。
- 下地（デッキプレート、PCa、コンクリート等）の動きにより防水層にクラックやひび割れが入る場合がありますので、事前に構造等について防水業者とよく打ち合わせて仕様を決定してください。
- 下地の状態により防水層の仕上りに影響を与えたり、下地が乾燥しにくい構造（デッキプレートコンクリート仕上げ、ポーラスな軽量コンクリート・改修工事＝既設保護層を撤去しない場合）や工期が短く乾燥時間が十分に取れない場合などでは、防水層にフクレ等の不具合を生じることがあり、密着工法から通気緩衝工法に仕様変更を必要とする場合があります。事前に防水業者とよく打ち合わせて仕様を決定してください。
- 押えコンクリートや水分の多い下地、動きのある下地（デッキプレート、PCa等）への防水施工は、通気緩衝工法や複合通気緩衝工法の仕様を選定してください。
- 下地は、コンクリートあるいはモルタル下地（金コテ仕上）とし、平滑で浮き・突起物などの欠損、エフロレシエンスのないようにしてください。新設の場合は、1ヶ月以上乾燥養生してください（下地は鏡面仕上にしないでください）。
- 貫通パイプ・ドレン等は、堅固に取り付け、下地と一体化させてください。
- ドレン部は、防水層の増塗りが必要です。増塗りしても排水できるように低めに勾配をつけてください。
- 横引きドレンについては、下金まで防水材料を塗布する場合があります。ドレンの蓋と下金との納まりが約3mm以上余裕のあるものを選定してください。
- 出入隅の形状は、入隅は通りよく直角、出隅は通りよく45°の面取りで仕上っているものとします。
- 下地の勾配は、1/100～1/50にしてください。
- 立上り部の納まりは、基本的には笠木を取り付けるものとしますが、立上り途中で防水層を止める場合は、必ず水切りを設置してください。

施工上の注意事項（事前に施工仕様書・各材料説明書等をお読みください）

〈天候について〉

- 降雨、降雪時または降雨、降雪が予想される場合や降雨・降雪後、下地が未乾燥の場合は、施工を中止してください。
- 標準施工温度は10～35℃とします。最低施工温度は5℃です。温度が低い場合は、硬化が遅くなりますので、必要に応じて硬化促進剤を使用してください。
- 湿度が80%以上を越える場合は、施工を中止してください。

〈下地について〉

- 下地は、十分に乾燥させてください。
- 下地のクラックは、Uカットしてポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペースト、またはポリウレタン系シーリング材を充填してください。
- 下地の突部や突起物は、サンダー等を用いて平滑にしてください。
- 下地の素穴やへこみなどは、ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペーストを用いて平滑にしてください。
- レイタンスや表面強度のない下地は、サンダー・ケレン棒を用いて削り、強固な下地を出すか、下地調整材を用いて強固な下地を作ってください。

〈作業環境について〉

- 施工において、周囲では火気を使用しないでください。
- 室内の施工においては、十分換気に注意してください。換気の悪い場所では、有機溶剤用防毒マスク等を着用して適切に換気処置を取ってください。
- 混合・攪拌する際は、保護マスクを着用し、皮膚に付かないように保護手袋や、眼に入らないように保護眼鏡を着用してください。
- 施工後は、硬化するまで立入禁止としてください。

〈施工上の注意〉

- 配合比率を厳守し、適切な工具を用いて施工してください。
- 混合容器の底部に付着した混合液は、混合が十分でない場合があります。そのままかき出して使用せず、十分に攪拌し直すか、または使用を控えてください。
- 防水材料の施工後、ピンホールやフクレ等は、工程毎に補修処理をしてください。

維持管理上の注意事項

- 6ヶ月毎に屋根や防水層面の清掃を行ってください。特に排水口回りと入隅部分の泥や枯れ葉等を除去してください。
- 定期的に次のような点検を行ってください。異常が認められた場合は施工業者に連絡し補修を行ってください。
 - ☆保護塗料が薄くなっている箇所、ひび割れ箇所、剥離している箇所がないか。
 - ☆防水層に亀裂、フクレ、剥離が生じていないか。
- 保護塗料は、防水層の劣化を抑制し美観の維持・向上に効果があります。劣化状態に応じて有償で保護塗料の塗り替えを行ってください。
- 防水層の洗浄液には、家庭用中性洗剤以外の薬品は使用しないでください。酸・塩素系の洗剤は、防水層を変形・損傷させる恐れがあります。
- 防水層の洗浄には、金属ブラシや金属タワシは使用しないでください。防水層に傷がついたり損傷する恐れがあります。柔らかい布や雑巾で清掃し、十分に乾燥してください。

防水層利用上の注意事項

- 防水層の上を歩行する際には、靴底の柔らかい履物を使用してください。防水層を傷つける恐れのあるハイヒール、スパイク等の履物は、使用しないでください。また、粗面仕上している場合は、つまずく恐れがありますので走らずに、歩行には十分に注意してください。
- 防水層の表面が濡れているときは、滑りやすいので十分に注意してください。また、バルコニー等でモルタル仕上から露出防水へ改修工事を行った場合には、降雨時の雨水が浸透せずに防水層の上に溜まり、自然乾燥するまでに時間がかかる場合があります。
- 防水層の上や付近では、花火や焚き火等の火気を使用しないでください。飛び火によって防水層が燃焼、変質する恐れがあります。
- 防水層の上にタバコの投げ捨てやタバコの火種を落としたりしないでください。防水層が燃焼し変質して、穴が開き漏水する恐れがあります。
- 防水層の上に油・酸等の腐食性の液体や、化学薬品・ガソリン・灯油・塗料・溶剤・肥料等をこぼさないでください。また、ダクトや煙突からのミスト、油煙等の混じった排気のないようにしてください。防水層が変色・膨潤・劣化して防水機能を損なう恐れがあります。
- 防水層の上では、ペットの飼育をしないでください。動物の爪や歯で防水層に傷をつけ、排泄物が防水層を劣化させる恐れがあります。
- 防水層の上での植栽は行わないでください。排水溝を詰まらせたり植物の根によって防水層を損傷させる場合があります。
- 防水層の上で激しい運動やゴルフの練習・自転車・一輪車等の運転をしないでください。タイヤや靴底のカートの荷重によって、防水層に損傷を与える恐れがあります。
- 防水層の上には、運搬作業や設計時に予定した以外の重量物は置かないでください。重量物による防水層の変形や損傷の恐れがあります。
- 防水層の上に重量物やテーブル、椅子等を置いたりスノコ等を敷く場合は、接地部にゴム板などで保護・養生してください。ゴム板等で養生しないと、防水層に損傷を与える恐れがあります。
- 防水層の上に重量物を落としたり、鋭角なもので傷つけないでください。防水層の変形や損傷の恐れがあります。
- 防水層の上で作業をする場合は、ベニヤ板等で養生してください。カッターナイフ等の使用は、防水層に損傷を与える恐れがあります。避雷針・アンテナ・空調機器等を設置する場合は、防水層の上には直接設置せず、ゴム板等の下敷き材の上に設置してください。
- 防水層を新たに貫通させるような作業・機械機器の設置は、行わないでください。防水層に穴が開き、漏水する恐れがあります。釘やビス打等の打ち込みは、行わないでください。

取扱い上の注意事項

- 製品は、「消防法」、「労働安全衛生法」、「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」並びに、それらの法規制を受けますのでこれらを理解し、安全に作業を行ってください。
- 特定化学物質第2類物質の特別有機溶剤が含まれる製品(P9参照)がありますが、特別有機溶剤は他の特定化学物質と異なり、屋内における塗装工事等が対象となり有機則を準用した特化則対応が求められます。(屋上や開放廊下等での作業はその限りではありません。)
- 消防法上の危険物に該当する製品(P12参照)がありますので、取扱を厳守し、保管管理をお願いします。製品は、業務用に限定しておりますので、一般の方はご使用できません。防水施工は、専門業者にご依頼ください。
- 液がこぼれた場合は、ウエスでふき取るか、砂等で流出しないように吸い込ませ除去してください。
- 主剤と硬化剤の混合比は、定められた配合比率を守ってください。他の製品と混合しての使用は、硬化不良の原因となります。
- 小分けして使用する場合は、液を事前に攪拌混合してください。
- 主剤と硬化剤等の混合作業は、電動攪拌機を使用して混合ムラがないように十分に攪拌混合を行ってください(3~5分間)。
- 塗布作業は、金コテ・ゴムベラ等で均一に塗布してください。
- 主剤と硬化剤を攪拌混合した液は、速やかに使用してください。
- 作業着に付着した場合は、その汚れを落としてください。
- 取扱い後は、手洗い、うがいを十分に行ってください。

〈事故防止の注意事項〉

- 火気厳禁とし、火気を近づけたり火気のある場所で使用しないでください。
- 取扱う場所には、必要に応じて局所排気装置を設置してください。
- 取扱い中は、適切な保護具(防毒マスク、ホースラインマスク、メガネ、手袋等)を着用して作業を行ってください。

〈応急処置〉

- 眼に入った場合は、速やかに流水で15分間以上洗ってから眼科医の処置を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、大量の水と石鹸で洗い流し、また大量の蒸気を吸入した場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、安静にし、直ちに医師の診断を受けてください。なお、無理に吐かせないでください。

〈製品の使用上の注意事項〉

- 製品を取扱う前に製品カタログ、安全データシート(SDS)等をよく読んで理解してから使用してください。
- 使用後の容器の潰し作業はあらかじめ養生してから行ってください。

〈廃棄方法〉

- 使用済みの空缶、材料の付着した手袋、ウエス、使用済みの溶剤等は、専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 容器内に出るだけ液を残さないようにし、主剤と硬化剤とを混合して固めてから専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。

〈保管方法〉

- 消防法上の危険物は、法に従って保管してください。
- 危険物の保管には、数量により貯蔵の届け出、許可等の手続きが必要な場合があります。
- 一定場所を定め、直射日光、雨の当たらないように保管してください。
- 保管中はかならず容器を密閉し、日光、雨等に当たらないように保管してください。また、密閉した容器でも、容器とキャップの熱膨張・収縮の差によって湿気や降雨等の水分が製品内に入り異常反応する場合があります。高温多湿の場所や雨が当たる場所は避けて保管してください。
- 屋外に保管する場合は、周囲をトタン板等不燃材で囲い、下に板・シート等を敷き、かつ全体を覆ってください。



三ツ星ベルト株式会社 建設資材本部

www.mitsuboshi.com

神戸本社	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5770 FAX(078)685-5789
東京	〒103-0027	東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2506 FAX(03)5202-2526
名古屋	〒485-0077	小牧市大字西之島1818番地 (三ツ星ベルト株式会社 名古屋工場内) ☎(0568)41-7600 FAX(0568)41-7601
神戸	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5791 FAX(078)685-5789
広島	〒738-0004	広島県廿日市市桜尾2丁目2番39号 ☎(0829)32-9292 FAX(0829)32-9294
四国	〒769-2401	香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3189 FAX(0879)42-3186
福岡	〒812-0888	福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4453 FAX(092)451-7186
札幌	〒062-0902	札幌市豊平区豊平2条3丁目1番17号 ☎(011)841-9131 FAX(011)812-9370

- ①最新のカatalogかどうか、弊社ホームページでお確かめください。
- ②ご不明の点がありましたら、上記までお問合せください。
- ③お断りなく、記載内容を変更する場合があります。
- ④本カタログの一部または全部を複写、複製、改変することは形態を問わず禁じます。